

特集 1

## 新春トップセミナー ビデオメッセージ

# いのち輝く未来社会の実現に向けて ～医工連携を考える～



大阪大学15代総長 宮原 秀夫 氏

医工連携に関して、私は総長時代から非常に重要な課題の1つと考えておりました。大阪大学に医学、工学、さらに私の専門でもある情報学も加えて国際医工情報センター、我々は「MEIセンター」と呼んでいます。それを設置いたしました。その後私の任期は終了したのですが、このMEIセンターを外部から支える組織としてコンソーシアム関西を立ち上げ、現在はその組織の代表を澤先生にお願いしています。デジタルトランスフォーメーション、いわゆる「DX」と呼ばれるデジタル革命の時代に、また「BX」と呼ばれるバイオ革命の時代に医工連携がセカンドステージに入ってきて、工学と医学の一層の共創が求められていると考えて

います。新型コロナウイルスへの対応はもとより、ニューノーマルの時代を見据えて、いのちを大切にしたい豊かな未来を築くこと、そのためには医工連携はもとより、よく言われている倫理、法律、社会、いわゆる ELSI と呼ばれる、より広範な連携強化が必要だと思っています。本日、私自身は別件があって残念ながら馬場口先生、澤先生の講演を直接聞けなかったのですが、お二人の先生はすでに医工連携の必要性に関する議論を行ってきており、大いに期待しております。今後もぜひ医工連携組織を強化して、大阪大学の発展に貢献していただくことを切に願っております。ありがとうございます。